

やけどについて

やけどは、軽度のものを含めたら誰もが一度は経験したことがあると思います。そんな頻度の高いケガだからこそ、もしものために、応急処置を含めた対処法についてきちんと理解しておきたいものです。そこで簡単にやけどの応急処置とその予防法についてご紹介します。



◎やけどをした時とその応急処置！！

- ・手足のやけどなら水道水を流したまま患部をつけて**15～30分間**冷やしましょう。**消毒は必要ありません。**
- ・胸やおなかのやけどの場合、広範囲を冷やすと**低体温症**になる危険があるため**冷やしすぎないように**しましょう。
- ・**衣服を着たままで冷やして構いません。**無理に脱がすと水疱を破る恐れがあります。
- ・**水泡ができてしまった時は潰さず**清潔なガーゼやタオルで覆ってください。もし破れても皮膚はそのままにして保護してください。
- ・軽度のやけどでも適切な治療を受けないと跡が残る可能性があるため、念のため**医療機関に受診**しましょう。



◎やけどの予防法！！

生活環境の見直し：小さな子どもが手の届くところに電気ケトルや炊飯器（水蒸気が危険）を置かないこと。配線コードなども引っ張ってしまう恐れがあるため気を付けましょう。

低温やけどについて：寒い時期、**ホットカーペット**や**湯たんぽ**などの使用が多くなる季節ですが心地よい**低温でも長時間**温め続けると**水ぶくれ**ができたり、やけどのような状態になったりします。症状も重症化する傾向にあるため気を付けましょう。